

全校児童の力が集まって、新宮小学校の大きな力に！

新宮小学校は12月1日現在で1,110人の児童が通う大規模校です。本年度も教育目標「心豊かにかかわり合い、共に学ぶ子どもの育成」の達成に向け、地域とともにある学校（CS、コミュニティスクール）として教育活動の充実を図っています。

大規模校ならではの教育活動

1,100人の力が集結した春季大運動会。全児童が力を合わせ、競技も演技も迫力満点でした。全児童が運動会を成功させようという目標達成に向けて協力・活動する姿は感動的でした。

6年生は修学旅行で長崎に行きました。平和祈念像の前で行った児童200人による平和集会においても「新宮小の力」を発揮しました。観光客も足を止めて、思わず引き込まれてしまうほどの祈りの歌。揺らぐことのない平和への誓いは、遠い空まで響き渡りました。

これからも新宮小学校は、大規模校としての強みを生かして教育活動を充実させていきます。



▲運動会



▲6年生の修学旅行

CSの良さを生かしたゆたかな体験！

現代の暮らしはとても便利で、現地に行かずとも疑似体験ができたり、大変な作業は機械が行ったりします。しかし、そのような時代だからこそ、地域の人・もの・ことに着目した楽し



◀湊区のビニールハウスで特産のいちご作りを学ぶ3年生



4年生は、あやとりの会のみなさんから手話を教えてもらいました▶

五感をゆさぶる本物体験
多様でたのしい活動内容
身近にかんじる地域の人・もの・こと

い本物体験（ゆたかな体験）が大切です。

本校では、すべての学年でCSの良さを生かしたゆたかな体験を取り入れています。

1年生は地域のお年寄りとの交流、2年生は見守り隊のみなさんとの交流をして、地域の人への思いや良さに触れます。3年生は地域の農家の人に教えてもらいながらいちご栽培体験を、4年生は町社会福祉協議会の協力により福祉体験をし、充実した体験活動に取り組んでいます。5年生はさらに活動の場を広げ、実際に新宮海岸や立花山で新宮町の良さを発見していきます。6年生は総合的な学習の時間「未来への扉」で、さまざまな職種の人を招いて、労働観を磨き、未来への視野を広げていきます。

これからも新宮小学校は、地域とともにゆたかな体験を推進していきます。